

## 「そして赤面する」

坂口 裕靖

新年早々、Meltdown と Spectre という嫌なお年玉を賜った昨今、皆様いかがお過ごしでしょうか。筆者は Meltdown の記事を読んだ途端、荒俣宏作「帝都物語」を思い出しました。絞首刑で漏れ出した「精汁が零っているあいだ」、「冥府に落ちてなお、現世に残した自分の屍骸をも統御することができる」という一節。このあまりに強引でグロテスクで汚らしくて魅力的、かつ自分勝手すぎる言い分、そうそう忘れられるもんじゃありません。今回気になって Kindle 版で当該箇所当たってみました、今の新装文庫版は昔読んだノベルズとは微妙に順番が違ってて、探し出すのにちょっと骨が折れました。というか、最初に読んでから 30 年以上経ってることに気がついてびっくり。

冥府に相当するのがメモリ保護機能により守られるはずである領域とするならば、

そこから情報を持ってくる、すなわち本来載るべきでないデータがキャッシュラインに載っているという Meltdown の脆弱性は、まさに魔人が意図した作戦そのものじゃないですか。グレッグ・イーガン作「順列都市」における「発進」みたいなものです。Meltdown という脆弱性は、来てはいけない、削除されるべき未来を発進してしまうことがはらむ複雑さに対する警告なのかもしれません。大変ロマンあふれる脆弱性ですね。まあ、サーバの面倒みる側としては迷惑な話ではあるのですが。

さて、でまあ、Google Home mini には一旦見切りを付けて、アレクサに乗り換えてみました。ねえ頼むよう、おいらに Amazon Echo Dot 買わせておくれよう、という懇願ボタンを昨年 12/29 にぼちちと押したところ、年が明けた 1/14 になって「あなたの Echo Dot の招待購入の有効

期限は残り 24 時間です。」という、大変ありがたい、上から見下し腐った招待メールが届きました。いつ届くかわからない招待メールなのに、24 時間しか有効ではないというのはどういうことでしょうか。懇願ボタンを押してから招待メールが届くまで、正座して端末の通知を見つめ続けろということなんですか。ことなんですか。とにかく、かような非道い処遇の後、無事 Echo Dot を手にすることができました。

サイズの方は Google Home mini より小さく、というかそもそもドリンクホルダーにハマる程度の大きさになっていて、こいら辺のCANの良さは Amazon の方が一歩ウワテであると言えましょう。CANの良さといえば端末の位置付けも正反対で、Google Home mini はあくまでもターミナルであるのに対し、Echo Dot の方はフロントエンドになっている、という大きな

### One Point BUZZ WORD

## 42H1292

年末の掃除でキーボードが壊れた... 毎年仕事納めにはキーボードのキートップを外して、全部のキートップを掃除して帰ることにしてたので、昨年末もいつも通りキーボードの掃除をしていたわけです。で、あらかた終わったのでキートップを戻そうとした時、残念ながら z キーのバネを噛んだままキートップをハメてしまいました。あと思ったときには既に遅く、上から覗いてみると座屈バネが基板と基板カバーの間、まさに buckling spring が生み出すメンブレンスイッチのスキマに、へによっと挟まれてました。手を変え品を変え色々やってみましたが、何をやっても引っ張り出せません。というわけで、とりあえず再生をあきらめ、42H1292 最後のストックを開封することになりました。

これ、ラベルを見ると 1999 年製造ですから、20 世紀のどん詰まり、スコットランド生まれです。まだこの手のキーボードが売られている間にストックを三本買ったのですが、その最後の

一本です。42H1292 の耐久性なら 3 本あれば一生大丈夫だろう、と思っていたのですがちょっと甘かった。掃除さえしなければと後悔したものの、まあこれも天命なのでしょう。すでに製品としてはディスコンで、ディスコンどころか製造ライセンス自体を unicomp に売ってしまっているわけで、もはや IBM ロゴ付きのキーボードを買うことはできません。手元の最後のストックには IBM のロゴが残っていますが、「次の一本」についてはあきらめるしかないでしょう。まあそれでも、buckling spring タイプのキーボードが未だに売られているのはなんとありがたい話です。ここまで続いているなら、この先しばらくは入手性を気にしなくても良いでしょう。104key も USB 版も Mac 版もあるし。仕方ないよね、一度使ったら他のキーボード使えないもん（打鍵音はうるさいだろうけどさ）。まあ結構個体差があり、最後のストックは思ったよりカスカスした音でショボーン...

違いがあります。たとえば、メインの機能であるはずの音声出力を比べてみましょう。Google Home mini は音声信号を本体で終端して消音する設計となっており、外部から受け取ることはできませんが、外に出せるのは音波のみです。これに対して、Echo Dot は古き良き 3.5 φ もついていますし、bluetooth スピーカーに接続し、外部サウンドシステムに音声信号を送り出すことができるようになっていました。Google Home mini のスピーカーは唯一の出力デバイスという位置付けであるのに対し、Echo Dot のスピーカーは緊急避難用のコンソールという程度の扱いです。システムに組み込むことを考えた時に、どちらが使いやすいかというと、明らかに Echo Dot の方です。少なくとも、今まで投資したサウンドシステムが一切使えず、ひょろい音しか出せないよりはるかにマシでしょう。

さて、Echo Dot に期待したものはもう一つあって、Amazon prime music です。正直無料の spotify はほとんど使い物になりませんでしたので、そこが改善されることを期待していたわけです。とりあえず狙った音楽ジャンルが再生（できないわけです、無料版の spotify では）できるのなら、たとえ音声認識や「スキル」がへろへろであったとしても、とりあえず車載機器としての使い勝手が出て来る事になります。まあ prime video の経験からすると、そこまで満足の行くサービスでないことは十分予想されるわけですが、無料版 spotify よりマシなんじゃないかな、と期待し、結果予想どおりでした。さて、Echo Dot の音声出力を活かすべく、最初 bluetooth を試したものの、PIN 認証非対応ということでどうにもならず、あえなく断念。次に 3.5 φ のステレオプラグを買ってきて、グローバルボックスの中に出てるカーナビの aux 端

子につなげてみました。外部入力に切り替えるメニューを探してみたものの、それらしきものは HDMI か VTR しかありません。試しに VTR 入力を選んでみると、音が出てきました。さすがに Echo Dot のスピーカーに比べると、音質は雲泥の差です。でも、残念ながら右側から音が出ません。あわてて調べてみると、カーナビの aux 端子は音声入力ではなく、AV 入力端子になっていたのです。だから VTR なのね。まあ変換プラグを用意すれば改善できるでしょうから、Amazon でポチっておき、とりあえず後回しにすることとしました。

Google Home mini は初期化が終了するとサウンドロゴで教えてくれますが、Echo Dot の方は派手なライトリングが消灯して教えてくれます。Echo Dot は派手すぎる気もしますが、運転中にコマンドが通ってるかどうか確認するという意味では、いい具合に視界の端に引っかかるため、使いやすく感じます。Google Home mini の方はそもそも LED が布地の下にあって点灯するまで見えず、確認するには視線を取られるのが難点でした。その意味では Echo Dot にして改善されたといえます。

Google Home mini は「おはよう」をキーワードにして、今日の天気予報とニュースを再生してくれるのはありがたいのですが、川越市新宿町（あらじゅくまち）が何をどうやってもシンジユクになって、大変いらっとするわけです。こんなにイラつくの、住民票移動の時、北区役所の担当者が、川越市の町名サ行を指で追いつつ「この住所ないですねえ」と宣言した時以来です。一方、アレクサの方はきちんとアラジユクマチと読んでくれます。この読み上げ時に参照する音素辞書の性能は、どうやらアレクサの方がかなり優秀だと考えて良い

でしょう。Google の方はなんかうねるようなナマリもあって、聞いててイライラします。音素のみならず、イントネーション辞書の整備も甘いでしょう。Google Home mini の起動は「OK, Google」もしくは「ねえ Google」という 2 語であるのに対し、Echo Dot は「Alexa」の 1 語です。Google を起動しないようにするには、「OK」もしくは「ねえ」に続けて「Google」を言わなければ良いので、Google Home mini について車内で話しをしていても、誤起動を防ぐのはさほど苦労しません。一方で、言葉の端に Alexa が含まれると Echo Dot が起動してしまうため、「Alexa」という単語を使わずに、Alexa の話題を話すのは結構難しい問題だったりします。

Echo Dot（というか、Echo 全般）のウェイクワードは Alexa 以外にも computer とか Amazon とか Echo とかを選べるようです。でもなー、computer はちょっと恥ずかしいよね。スタートレックのオリジナルシリーズが好きな筆者としては、スタートレックができるのはうれしくあるものの、スピーカー相手に computer と呼びかけるのもなかなかー、と思うわけです。スタートレックのコンピューターはあくまでも艦載コンピューターなわけですから、クルマの制御ができないのは納得がいきます。いずれにしろ、ウェイクワードの取りこぼしは Google Home mini の方が少ないようでした。でまあ、目下の問題は何かと言うと、寒すぎるとルータの AC785 が起動せず、Alexa が赤く点灯することです。... 夏が大変心配。

Hiroyasu Sakaguchi  
(株) IMAGICA イメージワークス